

# ノーロード・インド株式フォーカス（毎月分配型）

## 運用報告書（全体版）

第53期（決算日 2018年10月15日） 第55期（決算日 2018年12月14日） 第57期（決算日 2019年2月14日）  
第54期（決算日 2018年11月14日） 第56期（決算日 2019年1月15日） 第58期（決算日 2019年3月14日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。  
「ノーロード・インド株式フォーカス（毎月分配型）」は、2019年3月14日に第58期の決算を行ないましたので、第53期から第58期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

### 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2014年5月16日から2024年3月14日までです。
運用方針	主として、インド企業が発行する株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA」投資証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期から第3計算期までは収益分配を行ないません。第4計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

<642347>

## 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近30期の運用実績

決算期	基 準 価 額 (分配落)	準 価 額			債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 入 比	純 資 産 総 額	産 額
		税 分	込 配	み 騰 落 率					
29期(2016年10月14日)	円 9,288		円 100		% —	% 97.5		百万円 115	
30期(2016年11月14日)	8,799		100	△4.2	—	97.0		121	
31期(2016年12月14日)	9,165		100	5.3	—	97.1		138	
32期(2017年1月16日)	9,092		100	0.3	—	97.3		162	
33期(2017年2月14日)	9,486		100	5.4	—	98.5		175	
34期(2017年3月14日)	9,542		100	1.6	—	96.9		201	
35期(2017年4月14日)	9,523		100	0.8	—	96.9		248	
36期(2017年5月15日)	10,198		100	8.1	—	93.5		405	
37期(2017年6月14日)	9,874		100	△2.2	—	96.9		439	
38期(2017年7月14日)	10,230		100	4.6	—	98.3		544	
39期(2017年8月14日)	9,746		100	△3.8	—	98.0		563	
40期(2017年9月14日)	10,242		100	6.1	—	100.3		668	
41期(2017年10月16日)	10,237		100	0.9	—	97.2		785	
42期(2017年11月14日)	10,208		100	0.7	—	97.2		912	
43期(2017年12月14日)	10,311		100	2.0	—	97.1		1,141	
44期(2018年1月15日)	10,653		100	4.3	—	98.7		1,234	
45期(2018年2月14日)	9,932		100	△5.8	—	95.2		1,300	
46期(2018年3月14日)	9,482		100	△3.5	—	96.8		1,295	
47期(2018年4月16日)	9,441		100	0.6	—	96.9		1,297	
48期(2018年5月14日)	9,311		100	△0.3	—	95.4		1,263	
49期(2018年6月14日)	9,360		100	1.6	—	95.2		1,277	
50期(2018年7月17日)	9,390		100	1.4	—	96.7		1,289	
51期(2018年8月14日)	9,204		100	△0.9	—	95.4		1,261	
52期(2018年9月14日)	8,694		100	△4.5	—	96.5		1,183	
53期(2018年10月15日)	7,773		100	△9.4	—	96.0		1,042	
54期(2018年11月14日)	7,887		100	2.8	—	96.7		1,059	
55期(2018年12月14日)	8,061		100	3.5	—	96.3		1,101	
56期(2019年1月15日)	7,636		100	△4.0	—	96.8		1,053	
57期(2019年2月14日)	7,748		100	2.8	—	96.4		1,102	
58期(2019年3月14日)	8,041		100	5.1	—	96.5		1,104	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

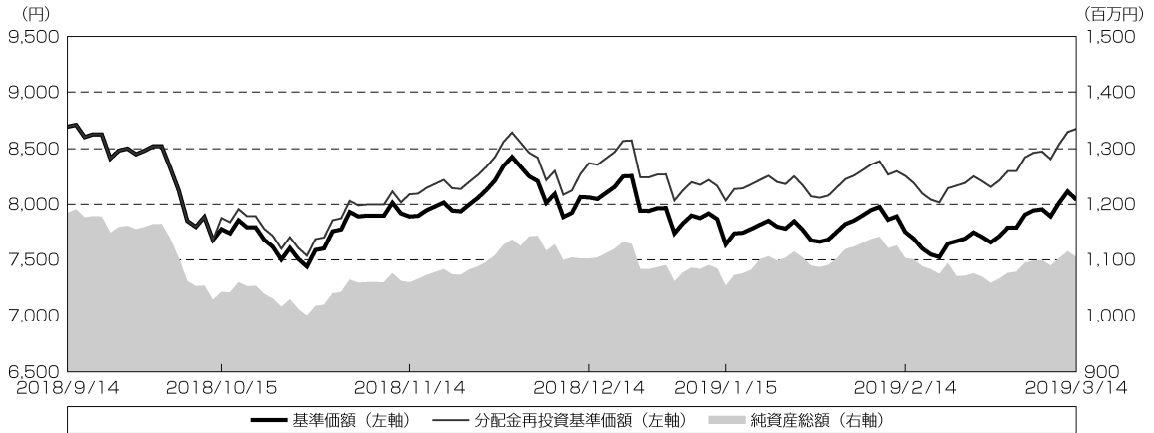
決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率	率	
第53期	(期 首) 2018年9月14日	円 8,694		% -	% 96.5
	9月末	8,450		△2.8	96.4
	(期 末) 2018年10月15日	7,873		△9.4	96.0
第54期	(期 首) 2018年10月15日	7,773		-	96.0
	10月末	7,600		△2.2	96.9
	(期 末) 2018年11月14日	7,987		2.8	96.7
第55期	(期 首) 2018年11月14日	7,887		-	96.7
	11月末	8,345		5.8	96.7
	(期 末) 2018年12月14日	8,161		3.5	96.3
第56期	(期 首) 2018年12月14日	8,061		-	96.3
	12月末	7,964		△1.2	95.8
	(期 末) 2019年1月15日	7,736		△4.0	96.8
第57期	(期 首) 2019年1月15日	7,636		-	96.8
	1月末	7,679		0.6	96.7
	(期 末) 2019年2月14日	7,848		2.8	96.4
第58期	(期 首) 2019年2月14日	7,748		-	96.4
	2月末	7,654		△1.2	96.8
	(期 末) 2019年3月14日	8,141		5.1	96.5

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

## ○運用経過

（2018年9月15日～2019年3月14日）

## 作成期間中の基準価額等の推移



第53期首：8,694円

第58期末：8,041円（既払分配金（税込み）：600円）

騰落率：△0.2%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2018年9月14日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、インドの企業が発行する株式を投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・原油の輸入依存度が高いことから原油価格の下落による経常赤字拡大の懸念が後退したこと。
- ・主要企業が好調な決算を発表したこと。
- ・米国連邦準備制度理事会（FRB）のハト派的な姿勢や米中間の貿易を巡る緊張が緩和したこと。

<値下がり要因>

- ・ノンバンク金融会社分野で信用サイクルの問題が生じる懸念が高まったこと。
- ・米中貿易摩擦による企業業績への懸念を受けて世界的な株安が進行したこと。
- ・インドルピーが対円で下落したこと（2018年12月～2019年1月）。

## 投資環境

### （株式市況）

当期間のインド株式市場は、極めてボラティリティ（変動性）の高い展開となりました。世界では、米中間の貿易を巡る緊張、流動性環境のタイト化、経済成長の減速が、期間の前半における市場ボラティリティ上昇の主な要因となった一方、期間の後半はFRBのハト派的な姿勢や米中間の貿易を巡る緊張の緩和によって市場は回復しました。

インド準備銀行は、2018年6月と8月の会合で2度利上げを実施した後、2019年2月の会合でレポ金利を0.25%引き下げて中立的な姿勢に転換しました。ノンバンク金融会社分野の危機後に債券市場が安定したことや期間末にかけて原油価格が落ち着きを見せた結果、インドのマクロ経済環境には回復が見られました。

### （国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.06%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.02%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.13%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.14%近辺で期間末を迎えました。

### （為替市況）

期間中における円／インドルピー相場は、右記の推移となりました。



## 当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドでは、収益性を追求するため、「Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA」投資証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

（Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA）

期間中は、金融および生活必需品セクターの投資比率を拡大させる一方、情報技術およびエネルギーセクターの投資比率を引き下げました。回復の初期段階を迎えているとみられる不動産セクターについては組入比率を維持しました。ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）を重視したボトムアップの銘柄選択によって、業績の伸びが相対的に高くて勢いがあり、バリュエーション（株価評価）が妥当な水準にある銘柄に投資を行いました。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期
	2018年9月15日～ 2018年10月15日	2018年10月16日～ 2018年11月14日	2018年11月15日～ 2018年12月14日	2018年12月15日～ 2019年1月15日	2019年1月16日～ 2019年2月14日	2019年2月15日～ 2019年3月14日
当期分配金	100	100	100	100	100	100
（対基準価額比率）	1.270%	1.252%	1.225%	1.293%	1.274%	1.228%
当期の収益	49	—	55	20	27	—
当期の収益以外	50	100	44	79	72	100
翌期繰越分配対象額	2,131	2,031	1,987	1,907	1,835	1,735

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

---

（当ファンド）

引き続き、原則として「Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA」投資証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

（Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA）

当ファンドでは、2019年の総選挙に向けて政治的な不透明感が強まり、市場のボラティリティが高止まりすると考えています。インドとパキスタンの間の地政学的な緊張は、拘束されていたインド空軍のパイロットが解放され、インドに戻ったことを受けてやや緩和されました。当ファンドでは、これらの事態が一段と悪化する可能性は低いと考えています。

引き続き、インドの経済成長を享受することをめざし、分散投資による運用を行なう方針です。ファンダメンタルズが強く、収益の成長性に優れた企業を、ボトムアップアプローチにより個別に選別することに注力していきます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年9月15日～2019年3月14日)

項 目	第53期～第58期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	43	0.536	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 7 )	( 0.091 )	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 34 )	( 0.428 )	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	( 1 )	( 0.016 )	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.050	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	( 0.002 )	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	( 4 )	( 0.048 )	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	( 0.000 )	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	47	0.586	
作成期間の平均基準価額は、7,948円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

## ○ 売買及び取引の状況

(2018年9月15日～2019年3月14日)

## 投資信託証券

銘 柄		第53期～第58期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA	千口	千円	千口	千円
		111,730	177,902	145,403	229,000

(注) 金額は受け渡し代金。



親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第53期～第58期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
マネー・アカウント・マザーファンド	千口 259	千円 259	千口 397	千円 398

○利害関係人との取引状況等

(2018年9月15日～2019年3月14日)

利害関係人との取引状況

<ノーロード・インド株式フォーカス（毎月分配型）>

区分	第53期～第58期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
投資信託証券	177	177	100.0	229	229	100.0
金銭信託	208	208	100.0	208	208	100.0

<マネー・アカウント・マザーファンド>

区分	第53期～第58期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
金銭信託	2,798	2,798	100.0	2,798	2,798	100.0

平均保有割合 0.2%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2018年9月15日～2019年3月14日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2018年9月15日～2019年3月14日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2019年3月14日現在)

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第52期末		第58期末			
		口	数	口	数	評 価 額	比 率
			千口		千口	千円	%
Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd	クラスA	671,590		637,916		1,065,320	96.5
合	計	671,590		637,916		1,065,320	96.5

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

## 親投資信託残高

銘	柄	第52期末		第58期末		
		口	数	口	数	評 価 額
			千口		千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド		1,197		1,059		1,063

(注) 親投資信託の2019年3月14日現在の受益権総口数は、469,995千口です。

## ○投資信託財産の構成

(2019年3月14日現在)

項	目	第58期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
投資証券		1,065,320	94.2
マネー・アカウント・マザーファンド		1,063	0.1
コール・ローン等、その他		64,534	5.7
投資信託財産総額		1,130,917	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第53期末	第54期末	第55期末	第56期末	第57期末	第58期末
	2018年10月15日現在	2018年11月14日現在	2018年12月14日現在	2019年1月15日現在	2019年2月14日現在	2019年3月14日現在
	円	円	円	円	円	円
<b>(A) 資産</b>	<b>1,088,310,108</b>	<b>1,077,239,678</b>	<b>1,143,527,122</b>	<b>1,080,168,258</b>	<b>1,132,584,865</b>	<b>1,130,917,401</b>
コール・ローン等	57,957,173	49,045,329	43,580,688	43,693,519	48,355,929	40,790,677
投資証券(評価額)	1,001,062,529	1,024,660,387	1,061,497,342	1,019,612,427	1,062,906,122	1,065,320,713
マネー・アカウン・マザーファンド(評価額)	1,066,399	1,005,929	1,090,191	1,072,671	1,105,065	1,063,110
未収入金	24,293,057	2,528,033	33,417,942	11,851,364	16,199,249	23,742,901
未収配当金	3,930,950	—	3,940,959	3,938,277	4,018,500	—
<b>(B) 負債</b>	<b>45,508,268</b>	<b>17,493,596</b>	<b>41,612,044</b>	<b>26,937,983</b>	<b>29,967,204</b>	<b>26,430,012</b>
未払金	1,815,127	—	—	5,849,238	1,553,399	—
未払収益分配金	13,414,980	13,436,805	13,668,947	13,792,150	14,230,794	13,735,827
未払解約金	28,525,371	2,338,699	26,089,122	5,289,017	12,142,942	10,658,002
未払信託報酬	1,041,756	925,511	974,867	1,036,420	982,138	898,986
未払利息	58	89	61	53	45	11
その他未払費用	710,976	792,492	879,047	971,105	1,057,886	1,137,186
<b>(C) 純資産総額(A－B)</b>	<b>1,042,801,840</b>	<b>1,059,746,082</b>	<b>1,101,915,078</b>	<b>1,053,230,275</b>	<b>1,102,617,661</b>	<b>1,104,487,389</b>
元本	1,341,498,084	1,343,680,500	1,366,894,784	1,379,215,080	1,423,079,448	1,373,582,760
次期繰越損益金	△ 298,696,244	△ 283,934,418	△ 264,979,706	△ 325,984,805	△ 320,461,787	△ 269,095,371
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,341,498,084口</b>	<b>1,343,680,500口</b>	<b>1,366,894,784口</b>	<b>1,379,215,080口</b>	<b>1,423,079,448口</b>	<b>1,373,582,760口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	7.773円	7.887円	8.061円	7.636円	7.748円	8.041円

(注) 当ファンドの第53期首元本額は1,361,465,665円、第53～58期中追加設定元本額は317,152,923円、第53～58期中一部解約元本額は305,035,828円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第53期0.7773円、第54期0.7887円、第55期0.8061円、第56期0.7636円、第57期0.7748円、第58期0.8041円です。

(注) 2019年3月14日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は269,095,371円です。

## ○損益の状況

項 目	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期
	2018年9月15日～ 2018年10月15日	2018年10月16日～ 2018年11月14日	2018年11月15日～ 2018年12月14日	2018年12月15日～ 2019年1月15日	2019年1月16日～ 2019年2月14日	2019年2月15日～ 2019年3月14日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	7,779,260	△ 1,664	7,746,968	3,936,374	4,016,900	△ 1,086
受取配当金	7,781,277	—	7,749,103	3,938,277	4,018,500	—
受取利息	11	—	36	16	16	25
支払利息	△ 2,028	△ 1,664	△ 2,171	△ 1,919	△ 1,616	△ 1,111
(B) 有価証券売買損益	△114,448,497	29,746,959	28,482,700	△ 47,150,496	26,249,768	55,008,644
売買益	4,018,019	30,095,935	29,015,534	359,238	26,847,925	55,952,627
売買損	△118,466,516	△ 348,976	△ 532,834	△ 47,509,734	△ 598,157	△ 943,983
(C) 信託報酬等	△ 1,138,306	△ 1,011,185	△ 1,065,307	△ 1,133,006	△ 1,073,057	△ 982,227
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	△107,807,543	28,734,110	35,164,361	△ 44,347,128	29,193,611	54,025,331
(E) 前期繰越損益金	△132,021,265	△242,114,264	△205,519,905	△173,836,664	△216,544,793	△178,790,966
(F) 追加信託差損益金	△ 45,452,456	△ 57,117,459	△ 80,955,215	△ 94,008,863	△118,879,811	△130,593,909
(配当等相当額)	( 292,684,701)	( 286,375,145)	( 277,814,894)	( 274,113,812)	( 271,493,884)	( 252,053,833)
(売買損益相当額)	(△338,137,157)	(△343,492,604)	(△358,770,109)	(△368,122,675)	(△390,373,695)	(△382,647,742)
(G) 計 (D + E + F)	△285,281,264	△270,497,613	△251,310,759	△312,192,655	△306,230,993	△255,359,544
(H) 収益分配金	△ 13,414,980	△ 13,436,805	△ 13,668,947	△ 13,792,150	△ 14,230,794	△ 13,735,827
次期繰越損益金 (G + H)	△298,696,244	△283,934,418	△264,979,706	△325,984,805	△320,461,787	△269,095,371
追加信託差損益金	△ 52,227,021	△ 70,554,264	△ 87,104,874	△104,997,069	△129,236,983	△144,329,736
(配当等相当額)	( 285,910,136)	( 272,938,340)	( 271,665,235)	( 263,125,606)	( 261,136,712)	( 238,318,006)
(売買損益相当額)	(△338,137,157)	(△343,492,604)	(△358,770,109)	(△368,122,675)	(△390,373,695)	(△382,647,742)
分配準備積立金	896	883	724	971	937	879
繰越損益金	△246,470,119	△213,381,037	△177,875,556	△220,987,827	△191,225,741	△124,766,514

(注) 損益の状況の中で (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程 (2018年9月15日～2019年3月14日) は以下の通りです。

項 目	2018年9月15日～ 2018年10月15日	2018年10月16日～ 2018年11月14日	2018年11月15日～ 2018年12月14日	2018年12月15日～ 2019年1月15日	2019年1月16日～ 2019年2月14日	2019年2月15日～ 2019年3月14日
a. 配当等収益(経費控除後)	6,640,911円	0円	7,519,159円	2,803,329円	3,874,469円	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越大損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	292,684,701円	286,375,145円	277,814,894円	274,113,812円	271,493,884円	252,053,833円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	400円	883円	853円	706円	90円	879円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	299,326,012円	286,376,028円	285,334,906円	276,917,847円	275,368,443円	252,054,712円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	2,231円	2,131円	2,087円	2,007円	1,935円	1,835円
g. 分配金	13,414,980円	13,436,805円	13,668,947円	13,792,150円	14,230,794円	13,735,827円
h. 分配金(1万円当たり)	100円	100円	100円	100円	100円	100円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

## ○分配金のお知らせ

	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期
1 万口当たり分配金（税込み）	100円	100円	100円	100円	100円	100円

## ○お知らせ

### 約款変更について

2018年9月15日から2019年3月14日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号の2に定める信用リスクを適正に管理する方法として、一般社団法人投資信託協会規則に従って委託会社が合理的な方法を定めるべく、2018年12月15日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。（付表）

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラス A	
	モーリシャス籍円建外国投資法人	
運用の基本方針		
基本方針	主として、インド企業の株式に分散投資することにより長期的な信託財産の成長を目標に運用を行ない、インドの高度成長を享受することをめざします。	
主な投資対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インド企業の発行するインド・ルピー建株式</li> <li>・インド企業の発行する当該株式を裏付けとした預託証券（DR）</li> <li>・インド・ルピー建あるいは米ドル建の流動性の高い短期金融資産</li> </ul>	
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主として、ムンバイの金融商品取引所に上場しているインド企業のインド・ルピー建株式を投資対象とし、分散投資することにより長期的な信託財産の成長を目標に運用を行ない、インドの高度成長を享受することをめざします。</li> <li>・純資産総額の 80%以上をインド・ルピー建株式および当該株式を裏付け資産とした預託証券（DR）に投資します。</li> <li>・リスクヘッジのため派生商品、主に先物取引に投資する可能性があります。主な投資対象ではありません。</li> <li>・外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行いません。</li> <li>・ただし、市況動向や資金動向その他の要因によっては、上記のような運用ができない場合があります。</li> </ul>	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1銘柄の組入れは、原則として組入れ時の純資産総額の 10%を限度として投資します。</li> <li>・投資信託証券への投資は、純資産総額の 5%を上限とします。</li> <li>・借入残高の合計金額が、純資産総額の 10%未満の範囲で借入れを行なう場合があります。</li> </ul>	
収益分配	原則として、毎月分配を行いません。なお、運用会社の判断により収益分配を行わないことがあります。	
ファンドに係る費用		
信託報酬など	純資産総額に対し年率 0.7%（国内における消費税等相当額はかかりません。）	
申込手数料	ありません。	
信託財産留保額	ありません。	
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。	
その他		
運用会社	日興アセットマネジメント アジア リミテッド	
信託期間	無期限	
決算日	原則として、毎年 3 月 31 日	

## Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd

## 包括利益計算書

2018年3月31日までの1年間

単位：日本円

## 収益

配当収入	47,597,451
損益を通じて公正価値評価される金融資産の公正価値のその他の純変動額	182,061,202
為替差(損)益	(6,582,019)
その他収入	420
<b>純収益合計</b>	<b>223,077,054</b>

## 費用

投資運用報酬	26,410,891
取引費用	28,022,754
管理報酬	10,160,991
税金費用	3,857,329
監査報酬	2,386,036
保管費用	2,343,372
取締役報酬	1,099,345
銀行手数料	1,488,867
ライセンス料	479,149
専門家報酬	408,364
現金保管手数料	209,356
<b>費用合計</b>	<b>76,866,454</b>

<b>運用利益</b>	<b>146,210,600</b>
-------------	--------------------

## 金融費用

クラスA投資主に対する分配金	(149,022,474)
----------------	---------------

<b>税引前(損失)利益</b>	<b>(2,811,874)</b>
------------------	--------------------

譲渡益税	(64)
------	------

所得税	(1,266,335)
-----	-------------

<b>運用によるクラスA投資主に帰属する純資産の(減少)増加</b>	<b>(4,078,273)</b>
------------------------------------	--------------------

## Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd

## 財政状態計算書

2018年3月31日現在

単位：日本円

## 資産

## 流動資産

損益を通じて公正価値評価される金融資産	3,611,028,088
受取債権	47,421,926
現金および現金同等物	209,750,702

## 資産合計

3,868,200,716

## 資本

投資主資本 — 出資者持分	11,619
---------------	--------

## 資本合計

11,619

## 負債

## 流動負債

未払所得税	268,226
支払債務	36,333,436
負債（クラスA投資主に帰属する純資産を除く）	36,601,662

クラスA投資主に帰属する純資産	3,831,587,435
-----------------	---------------

負債および資本合計	3,868,200,716
-----------	---------------

クラスA投資証券の発行済残高	2,276,460,016
----------------	---------------

クラスA投資証券1口当たり純資産価額	1.6831
--------------------	--------



Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd  
 クラス A 投資主に帰属する純資産変動計算書  
 2018年3月31日までの1年間

	口数	単位：日本円
期首現在のクラスA投資主に帰属する純資産	1,999,571,392	3,313,597,070
クラスA投資証券の発行による受取代金	770,782,581	1,400,309,462
クラスA投資証券の買戻による支払代金	(577,233,148)	(1,027,263,298)
分配金自動再投資の受取代金	83,339,191	149,022,474
証券取引による純増加	276,888,624	522,068,638
運用によるクラスA投資主に帰属する純資産の（減少）増加	—	(4,078,273)
包括利益合計	—	(4,078,273)
期末現在のクラスA投資主に帰属する純資産	2,276,460,016	3,831,587,435

資本は出資者持分のみで構成されている。出資者持分は変更がないことから、取締役会の意見では資本変動に関する十分な情報は記載されており、したがって、2018年については資本変動計算書を作成していない。

## 損益を通じて公正価値評価される金融資産の一覧表

2018年3月31日現在

保有株数	銘柄	市場価格	純資産に対する割合 (%)
<i>エンジニアリング/情報技術</i>			
8,000	TATA Consult Services Ltd	37,038,175	0.97
64,000	Tech Mahindra Ltd	66,423,410	1.73
41,000	L&T Infotech Ltd	89,322,269	2.33
64,000	Persistent Systems	72,179,690	1.88
56,000	Larsen and Toubro	119,289,404	3.11
		<hr/>	
		384,252,948	10.02
<i>銀行</i>			
55,000	Axis Bank	45,624,983	1.19
84,000	HDFC Bank	257,447,263	6.72
94,000	Housing Development Finance Corp	278,854,565	7.28
24,000	Kotak Mahindra Bank Ltd	40,863,345	1.07
50,000	State Bank of India	20,303,950	0.53
130,000	Yes Bank Ltd	64,398,215	1.68
46,000	Indusind Bank Limited	134,304,252	3.50
		<hr/>	
		841,796,573	21.97
<i>電子機器</i>			
172,000	InfosysTechnology	316,331,481	8.26
<i>医薬品</i>			
91,000	Fortis Healthcare	18,240,000	0.48
4,500	Glaxosmithkline Consumer Healthcare Ltd	44,606,048	1.16
50,000	Sun Pharmaceuticals Inds Ltd	40,226,033	1.05
100,000	Granules India Limited	16,777,774	0.44
		<hr/>	
		119,849,855	3.13

保有株数	銘柄	市場価格	純資産に対する 割合 (%)
	<i>多角化企業</i>		
38,000	Bharat Forge Limited	43,202,484	1.13
145,000	Reliance Industries Ltd	207,981,836	5.43
		<hr/>	<hr/>
		251,184,320	6.56
	<i>インフラストラクチャー</i>		
10,000	Hero Motocorp Ltd	57,569,295	1.50
850	Eicher Motor Limited	39,188,903	1.02
11,500	Maruti Suzuki India Ltd	165,588,342	4.32
37,000	Shriram Transport	86,554,139	2.26
		<hr/>	<hr/>
		348,900,679	9.1
	<i>エネルギー</i>		
73,000	Bharat Petroleum Company	50,705,195	1.32
163,000	Vedanta Ltd	73,593,979	1.92
132,000	Petronet LNG Ltd	49,537,738	1.29
271,000	Crompton Greaves Consumer Electricals Ltd	104,256,600	2.72
		<hr/>	<hr/>
		278,093,512	7.25
	<i>金融</i>		
32,517	LIC Housing Finance Ltd	28,237,172	0.74
118,000	JM Financial Ltd	24,696,883	0.64
15,000	Bajaj Finance Ltd	43,083,130	1.12
		<hr/>	<hr/>
		96,017,185	2.50

保有株数	銘柄	市場価格	純資産に対する 割合 (%)
	<i>その他</i>		
104,000	Sobha Ltd	85,850,204	2.24
10,000	Ultratech Cement Ltd	64,186,157	1.68
11,000	United Spirits Limited	55,941,323	1.46
60,840	Tata Steel Limited	56,455,677	1.47
12,000	Britannia Industries Ltd	96,924,672	2.53
40,000	Hindustan Unilever Limited	86,665,937	2.26
64,000	UPL Ltd	75,944,411	1.98
127,000	Prestige Estates Projects	60,218,965	1.57
13,000	Dalmia Bharat Ltd	60,715,148	1.58
24,000	Cholamandalam Investment	37,681,012	0.98
61,000	Phoenix Mills Limited	58,621,298	1.53
35,370	Godrej Consumer Products Ltd	62,857,586	1.64
26,000	Balkrishna Industries Ltd	45,149,518	1.18
80,000	Bharti Infratel Ltd	43,698,586	1.14
28,000	Grasim Industries Ltd	47,814,950	1.25
5,920	Tata Steel - Partly paid equity	1,352,063	0.04
60,000	Adani Ports and Special Economic Zone	34,524,028	0.90
		<hr/>	
		974,601,535	25.43
		<hr/>	
	損益を通じて公正価値評価される金融資産合計	3,611,028,088	94.22
		<hr/>	

# マネー・アカウント・マザーファンド

## 運用報告書

第9期（決算日 2018年10月12日）  
（2017年10月13日～2018年10月12日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

## ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行いません。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
5期(2014年10月14日)	円		%	%	百万円
	10,042		0.1	60.8	707
6期(2015年10月13日)	10,043		0.0	62.9	620
7期(2016年10月12日)	10,042		△0.0	—	483
8期(2017年10月12日)	10,038		△0.0	—	661
9期(2018年10月12日)	10,032		△0.1	—	595

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(期 首) 2017年10月12日	円		%
	10,038		—
10月末	10,038		0.0
11月末	10,037		△0.0
12月末	10,037		△0.0
2018年1月末	10,037		△0.0
2月末	10,036		△0.0
3月末	10,036		△0.0
4月末	10,035		△0.0
5月末	10,035		△0.0
6月末	10,034		△0.0
7月末	10,034		△0.0
8月末	10,033		△0.0
9月末	10,033		△0.0
(期 末) 2018年10月12日	10,032		△0.1

(注) 騰落率は期首比です。

## ○運用経過

(2017年10月13日～2018年10月12日)

## 基準価額の推移

期間の初め10,038円の基準価額は、期間末に10,032円となり、騰落率は△0.1%となりました。

## 基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.02%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.04%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.17%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.31%近辺で期間末を迎えました。

## ポートフォリオ

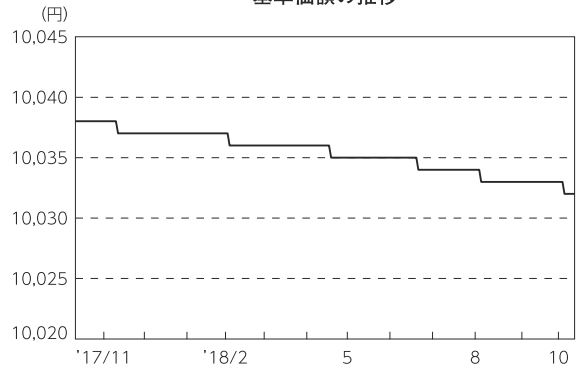
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

## ○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2017/10/12	2017/10/13	2018/10/04	2018/10/12
10,038円	10,038円	10,032円	10,032円

## ○1万口当たりの費用明細

(2017年10月13日～2018年10月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	円 1 (1)	% 0.006 (0.006)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	1	0.006	
期中の平均基準価額は、10,035円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2017年10月13日～2018年10月12日)

該当事項はございません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2017年10月13日～2018年10月12日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
		百万円	%		百万円	%
金銭信託	百万円 11,132	百万円 11,132	% 100.0	百万円 11,132	百万円 11,132	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2017年10月13日～2018年10月12日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。



## ○組入資産の明細

(2018年10月12日現在)

2018年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

## ○投資信託財産の構成

(2018年10月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	605,858	100.0
投資信託財産総額	605,858	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年10月12日現在)

項	目	当	期	末
(A) 資産				605,858,725
	コール・ローン等			605,858,725
(B) 負債				9,859,302
	未払解約金			9,858,703
	未払利息			599
(C) 純資産総額(A-B)				595,999,423
	元本			594,074,221
	次期繰越損益金			1,925,202
(D) 受益権総口数				594,074,221口
	1万口当たり基準価額(C/D)			10,032円

(注) 当ファンドの期首元本額は658,910,922円、期中追加設定元本額は304,155,041円、期中一部解約元本額は368,991,742円です。

(注) 2018年10月12日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・中華圏株式ファンド(毎月分配型)	358,147,422円	・グローバルC o C o債ファンド 新興国高金利通貨コース	725,751円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアル>コース(毎月分配型)	36,196,956円	・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・資源国3通貨コース	723,023円
・アジア社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	26,256,562円	・グローバルC o C o債ファンド ヘッジなしコース	691,513円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネーボールファンド)	19,096,921円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(円ヘッジコース)	635,335円
・インデックスファンドMLP(毎月分配型)	18,570,537円	・グローバルC o C o債ファンド 先進国高金利通貨コース	544,823円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	15,981,965円	・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース	463,986円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルレアルコース	12,364,787円	・世界標準債券ファンド(1年決算型)	460,453円
・世界標準債券ファンド	12,050,910円	・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)	381,841円
・エマージング・プラス(マネーボールファンド)	10,591,675円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド>コース(毎月分配型)	356,561円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジなし	9,431,195円	・世界のサイフ2(毎月分配型)	233,801円
・アジア社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	9,152,201円	・インデックスファンドMLP・為替ヘッジあり(適格機関投資家向け)	215,785円
・エマージング・プラス・成長戦略コース	8,702,715円	・ノーロード世界株式トップフォーカス	127,193円
・アジアリートファンド(毎月分配型)	7,421,881円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(通貨プレミアムコース)	116,742円
・RS豪ドル債券ファンド	5,978,333円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(1年決算型) 為替ヘッジあり	99,919円
・グリーン世銀債ファンド	4,236,231円	・上場インデックスファンド海外新興国株式(MSCIエマージング)	99,902円
・オーストラリア・インカム株式ファンド(毎月分配型)	3,764,914円	・グローバル・ハイブリッド・プレミアム(為替ヘッジあり)	72,778円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(新興国通貨戦略コース)	3,251,660円	・ノーロード・シンガポール高配当株式フォーカス(毎月分配型)	47,478円
・グローバルC o C o債ファンド 円ヘッジコース	3,051,032円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(ヘッジなしコース)	40,587円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル>コース(毎月分配型)	3,035,103円	・グローバル・ハイブリッド・プレミアム(為替ヘッジなし)	38,995円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル>コース(毎月分配型)	2,956,103円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(毎月分配型) 為替ヘッジなし	23,036円
・アジアREITオープン(毎月分配型)	2,052,394円	・上場インデックスファンド海外先進国株式(MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・エマージング・プラス・円戦略コース	2,037,236円	・上場インデックスファンドNifty50先物(インド株式)	19,983円
・SMB C・日興 世銀債ファンド	1,967,219円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500)	19,983円
・インデックスファンドMLP(1年決算型)	1,694,896円	・上場インデックスファンド豪州リート(S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・高金利成長通貨ファンド(毎月分配型)	1,671,472円	・アジア債券ファンド(毎月分配型)	16,193円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジあり	1,646,511円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(1年決算型) 為替ヘッジなし	12,325円
・欧州社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	1,507,644円	・上場インデックスファンド新興国債券	9,981円
・日興マナー・アカウント・ファンド	1,146,753円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500) 為替ヘッジあり	9,967円
・ノーロード・インド株式フォーカス(毎月分配型)	1,062,998円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジなし)	9,958円
・日興グラビティ・ファンド	1,051,712円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジあり)	9,958円
・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)	957,814円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(毎月分配型) 為替ヘッジあり	4,133円
・欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	786,512円		

(注) 1口当たり純資産額は1,0032円です。

## ○損益の状況

(2017年10月13日～2018年10月12日)

項	目	当	期
(A) 配当等収益			円
	受取利息	△	361,869
	支払利息		1,241
(B) 保管費用等		△	363,110
(C) 当期損益金(A+B)		△	44,086
(D) 前期繰越損益金			405,955
(E) 追加信託差損益金			2,493,348
(F) 解約差損益金			1,111,221
(G) 計(C+D+E+F)		△	1,273,412
	次期繰越損益金(G)		1,925,202

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

## ○お知らせ

## 約款変更について

2017年10月13日から2018年10月12日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。